

科目名(英文名)	ナンバリング	単位数	年次	期間	担当者
知的財産情報検索分析特論【MR】 (Advanced Study of Information for Intellectual Property)	MPCB23	2	1年次	後期	三浦 武範(ミウラ タケノリ) 杉山 典正(スギヤマ ノリマサ) 山田 繁和(ヤマダ シンガク)

授業のねらい概要	特許その他の知的財産情報データベースを用いて、国内外の知的財産情報の調査に関する実践的な演習を実施する。企業や弁理士事務所での業務において求められる、さまざまな知財関連調査などを行えるようになることを目指す。
----------	--

授業計画 (授業のスケジュール)	回数	テーマ	授業の内容・教育方法	予習/復習
	第1回	ガイダンス	講義内容の概説、講義の進め方や受講心得について説明する。	復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(4時間)
	第2回	意匠調査の方法	意匠調査、特許公報における図面の読解や作成について学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
	第3回	図面の読解(1)	特許・実用新案・意匠・商標における図面の読解や作成について学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
	第4回	図面の読解(2)	特許・実用新案・意匠・商標における図面の読解や作成について学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
	第5回	意匠調査演習	意匠調査について演習を通じて学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
	第6回	意匠マップ	意匠マップ作成について学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
	第7回	商標調査演習	商標調査について演習を通じて学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
	第8回	海外データベース(1)	欧州特許庁のEspacenet、WIPOのPatentscopeなど、海外の特許情報の調査方法を学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
	第9回	海外データベース(2)	USPTOのPatFTなど、米国の特許情報の調査方法を学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(3時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(3時間)
	第10回	海外データベース(3)	WIPOや欧州特許庁等の意匠・商標データベースについて学ぶ。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
	第11回	特許調査演習(1)	特許調査と特許マップ作成について演習を行う。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
	第12回	特許調査演習(2)	特許調査と特許マップ作成について演習を行う。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
	第13回	特許調査演習(3)	特許調査と特許マップ作成について演習を行う。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
	第14回	審査情報	審査情報について解説する。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(2時間)
	第15回	商用データベース、著作権、ドメイン名その他の知財データベース	本研究科で利用可能な特許・意匠の商用データベース、著作権・ドメイン名その他の知的財産データベースについて解説する。	テーマについて下調べをしておくこと。(2時間) 復習および講義で紹介した文献等の参照が必要。(3時間)

到達目標	知的財産に関するデータベースの活用方法について、具体的な事例の演習を通じて理解し、企業や弁理士事務所での業務において求められる、さまざまな知財関連調査などを行えるようになることを到達目標とする。特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)や海外データベースを用いて、企業知財部などで必要とされる特許、商標、意匠などの知的財産権に関する調査を行う能力を身につけることがミニマム・リクワイアメントである。
評価方法	適宜課される課題の提出(50%)、および、調査レポートや質疑を含む平常点(50%)による評価
成績評価基準	A: 到達目標項目について、全てを総合して平均90%以上の達成度で実施できている。 B: 到達目標項目について、全てを総合して平均80%以上90%未満の達成度で実施できている。 C: 到達目標項目について、全てを総合して平均70%以上80%未満の達成度で実施できている。 D: 到達目標項目についてミニマム・リクワイアメントを充たし、全てを総合して平均60%以上70%未満の達成度で実施できている。 F: 上記以外

教科書			参考書		
書名	著者名	出版社名	書名	著者名	出版社名

受講心得	本講義は録画形式メディア授業【MR】対応科目です。 オンラインデータベースの利用に適したノートPCまたはタブレットを持参すること。 参考文献やウェブ上のリソースについては講義中に適宜紹介する。課題や演習で理解が不十分な箇所については授業内で補足・解説を行う。
------	---

オフィスアワー	水曜5限(三浦研究室・1号館10階) 火曜3限(山田研究室・1号館9階) 月曜5限(杉山研究室・1号館10階)
---------	---